

要覧



(受精卵産子)

長崎県農林技術開発センター 畜産研究部門

Livestock Research Division,
Agriculture and Forestry Technical Development Center,
Nagasaki Prefectural Government

長崎県島原市有明町湯江丁3600

Tel (0957)68-1135~1137

Fax (0957)68-1138

S07754@pref.nagasaki.lg.jp

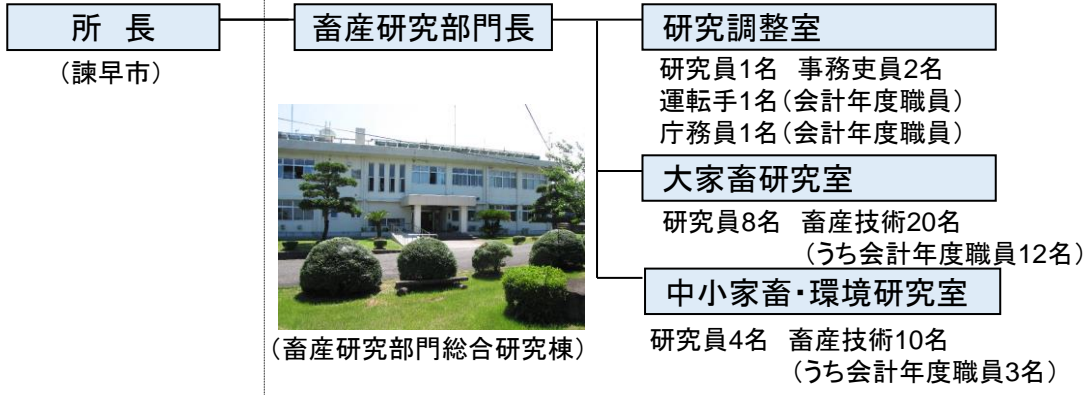
<http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/section/08livestock/index.html>

沿革

昭和13年3月	南高来郡深江村に長崎県種馬育成場創設
昭和21年12月	長崎県種鶏場創設
昭和26年6月	飼養形態の変遷に伴い島原種畜場と改称
昭和28年9月	深江村から現在地(経営伝習農場跡地)へ移転
昭和36年7月	機構改革により島原種畜場に島原畜産センター及び大村種鶏場に大村種鶏センターを併設し、試験研究を推進
昭和46年4月	機構改革に伴い総合農林試験場畜産部として発足(旧畜産部、島原種畜場、大村種鶏場を統合)
昭和48年4月	機構改革により畜産試験場として独立
昭和57年4月	組織改正により養鶏分場(大村市)を畜産試験場本場へ移転統合
平成元年3月	生物工学研究棟を設置
平成15年4月	県内7試験研究機関を統括する政策調整局所管となる。組織改正により5科体制(酪農科、肉用科、草地飼料科、養豚科、養鶏科)から3科体制(畜産環境科、大家畜科、中小家畜科)へ
平成16年4月	畜産環境科を企画・環境科へ変更
平成18年4月	科学技術振興局へ移管
平成21年4月	3試験場(総合農林、果樹、畜産)を再編統合し農林技術開発センターを設置(7研究部門と1管理部門に再編)。
平成23年4月	畜産研究部門として、研究調整室、大家畜研究室、中小家畜・環境研究室を設置 科学技術振興局の再編に伴い、農林部へ移管

組織構成

(令和6年4月1日現在：48名)



立地、位置図

- 所在地 長崎県島原市有明町湯江丁3600番地
- 標高及び傾斜 120m、北北東
- 経緯度 東経130° 20' 北緯32° 51'

家畜飼養頭羽数

乳用牛	12頭
肉用牛	120頭
豚	169頭
鶏	1003羽

(令和6年4月1日現在)

敷地・自然条件

敷地	(ha)
総面積	37.7
建物	5.2
飼料畑 (うち放飼場)	14.3 (1.6)
山林	13.7
農業大学校用地	3.1
公衆用道路他	1.4

自然条件

年間降水量	2,052mm
最高気温	31.9℃
最低気温	0.3℃
平均気温	15.4℃

土壌

地目	畑
母材	非結晶火成岩(火山岩)
土性	埴壤土
pH	6.3(H ₂ O)
リン酸吸収係数	2750



(センター一般公開での動物とのふれあい)

試験研究の目標 理念

「次代につなげる魅力ある農林業と活力ある農山村を実現する生産から消費にいたる革新的な農林業技術の開発」

農林技術開発センターは、本県農林業を次代につなげ、若者に選ばれる魅力ある農林業を実現する品種の育成や高品質化、多収化、低コスト化などの技術開発による生産性向上を図るとともに、農山村における所得確保が可能な営農体系の確立支援や農村ビジネスの創出などによる集落の維持、強化や移住・定住人口の拡大を図り、農山村集落の活性化を推進する。

長崎県総合計画
チャレンジ2025

基本理念：人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり

地域で活躍する人材を育て、未来を切り開く

力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す

夢や希望のあるまち、持続可能な地域を作る

第3期ながさき
農林業・農山村
活性化計画

◆基本理念

若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指す

◆基本目標

産地対策

農林業の生産性向上等により産地の維持・拡大を実現する

集落対策

多様な住民が活躍し、支えあう持続可能な集落を実現する

長崎県農林技術
開発の推進構想

基本理念

「次代につなげる魅力ある農林業と活力ある農山村を実現する生産から消費にいたる革新的な農林業技術の開発」

- 地球温暖化に対応した品種の育成や安定生産技術、病害虫管理技術の開発
- スマート農林業等生産性や品質を向上させる生産技術の開発およびオリジナル品種の育成
- 機能性等に着目した高付加価値商品の開発や素材となる農作物の育種技術、栽培技術の開発
- 中山間・離島に対応した営農体系の確立および環境保全型農業技術の開発

研究調整室

- 畜産関係の試験研究の調整
- 畜産技術相談窓口
- 総務事務等



(一般公開)



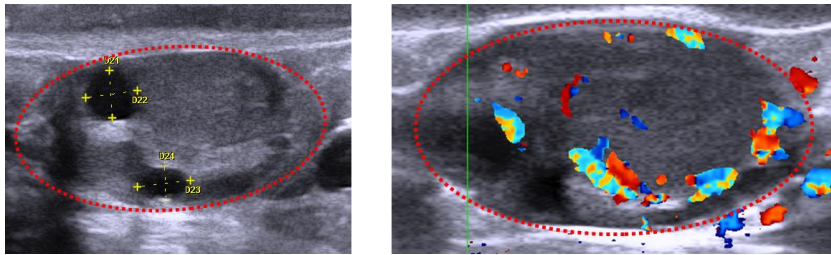
(成果報告会・研修会等)



大家畜研究室

肉用牛及び乳用牛の飼養管理技術の改善、バイオテクノロジーによる高能力牛の作出、草地・飼料作物の生産・利用技術の開発を行っています。

- 「長崎和牛」ブランド強化に向けた高品質な牛肉生産技術
- 肉用牛の早期肥育技術
- 乳牛の生産性向上のための飼養管理技術
- 受精卵移植技術を活用した効率的生産技術
- 放牧草地の造成技術
- 飼料作物の生産・貯蔵・給与技術
- 未利用資源の飼料化・給与技術



(繁殖雌牛の長期不受胎化予測および受胎支援システムの構築)



(長崎型新肥育技術に対応したTMR体系の開発)



(黒毛和種経産牛肥育技術の開発)



(ヒト用自己血液成分測定器に適用できる牛用ランセット針および測定センサーの開発)



(牧草・飼料作物品種選定試験)

中小家畜・環境研究室

安全・安心でおいしい豚肉生産技術の開発、長崎固有の在来種「対馬地鶏」を活用した食味の
良い特産鶏や高品質な鶏卵鶏肉の開発、資源循環に根ざした家畜排せつ物の処理技術の確立
試験に取り組んでいます。

- 養豚安定生産技術
- 良質鶏卵・鶏肉の生産技術
- 地域未利用資源を活用した特殊卵および豚肉の安定生産技術
- 家畜排せつ物の処理技術



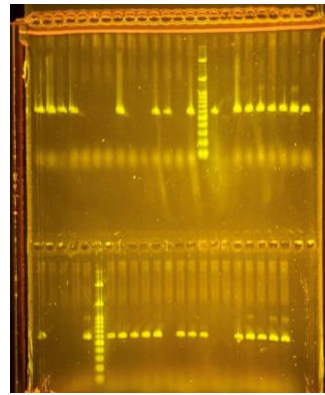
(低コスト飼料および繊維分解酵素を活用した豚肉生産技術の開発)



(ICT技術を活用した養豚管理システムの確立)



(対馬地鶏を活用した鶏肉生産)



(ニワトリ新規ゲノム育種マーカーの開発、対馬地鶏の「遺伝資源保存」)



(豚ふん堆肥ペレットの広域流通促進システムの開発・実証)



(高度排せつ物処理技術の開発)

